

令和5年度（2023年度）入学者選抜における
新型コロナウイルス感染症等に伴うお願いおよび対応について

東北医科薬科大学
2022年9月29日

今後、新たな感染の拡大や情勢の変化等に応じて、随時お知らせを修正・更新しますので、本学ホームページにて最新の情報を確認してください。

1. 受験者へのお願い

東北医科薬科大学では、新型コロナウイルス感染症拡大防止と受験者が安心して受験できる環境を確保することを目的として、以下の事項についてお願いをしております。ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

1) 予めお願いしたいこと

- ・ 日頃から手洗い、手指消毒、不織布マスク着用、三つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける等、感染症への対策、および日々の体調管理に努めてください。
- ・ 試験日の 1週間程度前から体調不良（発熱、頭痛、咳、喉の痛み、強い倦怠感、呼吸困難感、腹痛、下痢等）を感じる場合や、持病等で類似する症状がある場合は、予め医療機関を受診し、受験の可否に関する診断を受けるようにしてください。受験可と診断された場合は、受験を可とする内容が記載されている診断書を試験当日持参してください。
- ・ 試験当日は、昼食時を除き常時不織布マスクの着用を義務付けますので、事前に不織布マスクをご準備ください。ウレタンマスクや布マスク、マウス/フェイスシールドでは受験できません。なお、マスクの着用が困難な事情等がある場合は、必ず事前に入試課にご連絡ください。
- ・ 「2. 追試験の実施について」の1) 対象者に該当する場合は受験できません。申請により大学が許可した場合は追試験を受験できますので、該当する方は、速やかに入試課まで連絡してください。

2) 試験前日・当日にお願いしたいこと

- ・ 本学小松島キャンパス試験場の下見の際は、キャンパス内への立ち入りは禁止します。
- ・ 試験前日および当日朝は検温をし、発熱（37.5度以上）がないか確認してください。
- ・ 試験前日および当日の健康状態について、受験票に記載されている「健康チェック」を記入してください。試験場入場時に係の者が確認します。記入されていない場合は入場できません。
- ・ 咳や喉の痛みなどの症状がある場合は、試験場入口にて申し出てください。医師等により症状を確認し、受験可否を判断します。受験できないと判断した場合は、追試験を案内します。
- ・ 試験当日は不織布マスクを持参してください。試験場内では、昼食時を除き必ず不織布マスクを着用し鼻と口の両方を確実に覆うことを義務付けます。ただし、本人照合時はマスクを一時的に外すよう監督者等が指示する場合があります。
- ・ 試験場および試験室入口に設置している消毒液で、入退時の都度、手指消毒をしてください。
- ・ トイレに並ぶ際は、間隔を空けてお並びください。また、利用後は手洗いを徹底してください。
- ・ 試験場内における他者との接触、会話は、休憩時間や昼食時、入退場時等も含め極力控えてください。
- ・ 昼食や飲み物が必要な場合は各自持参し、自席でとるようにしてください。休憩時間等を含め自席以外の机・椅子への着席・使用は認めません。
- ・ 試験室内を換気するため、窓や扉を開放する時間（10分程度）があります。暖かい上着を用意するなど気温の変化に対応できるようにしてください。
- ・ ごみは全て持ち帰ってください。特に、着用したマスクや使用済みティッシュ等の感染拡大の可能性のあるごみは絶対に試験場内に廃棄しないでください。
- ・ 試験場内に受験者以外の方（付添者等）は入ることができません。付添者控室は設置しておりません。
- ・ 上記の他、試験監督者等からの指示がある場合は、従ってください。

3) 試験終了後にお願いしたいこと

- ・ 混雑緩和のため、試験室からの退出には一定間隔を空けて順番に退室させることがあります。
- ・ 寄り道はせず可能な限りまっすぐ帰宅し、すぐに手洗い、洗顔、うがいなどをしてください。
- ・ 試験終了後1週間以内に、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、速やかに入試課まで連絡してください。
- ・ 試験終了後に受験者や監督者等に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合には、保健所や行政機関が行う必要な調査への協力のため、連絡先等を提供する場合がありますので予めご了承ください。

2. 追試験の実施について

新型コロナウイルス感染症等の罹患等により受験することができない者への特例措置として、追試験を実施します。追試験受験にあたり、追加の検定料は必要ありません。ただし、本措置の対象者が追試験の受験を希望しない場合や追試験を欠席した場合でも、入学検定料の返還は行いません。

1) 対象者

下記①～⑤に該当し、本学が指定する期限までに必要書類を添えて申請した者

- ① 新型コロナウイルス感染症および学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し、医師が治癒したと診断していない者
- ② 試験日前日および当日に発熱（37.5度以上）がある、強い倦怠感、呼吸困難感、咳が止まらない、喉の痛みが続いている、その他感染症罹患を疑う症状がある者
※なお、試験当日の試験開始前や試験時間中において、発熱（37.5度以上）や明らかに激しい咳を何度もしている、咳が止まらないなど、監督者等が他の受験者に影響があると判断した場合は、退室させ追試験受験を指示する場合があります（追試験受験には、医療機関を受診いただき、その際に取得した診断書を添えて申請が必要です）。
- ③ 試験直前に保健所から濃厚接触者に該当するとされ、試験日においても健康観察期間にある者
- ④ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国し、試験日においても自宅等での待機期間中にある者
- ⑤ 同居する人が上記の項目にあてはまる者

2) 追試験申請方法

- ・ 追試験対象に該当し、本試験を受験することができない旨を、事前に大学に電話連絡してください。当日発熱等があった場合は必ず**集合時間前まで**に電話連絡してください。
※集合時間後の連絡の場合は、追試験受験を認めません。
- ・ 必要書類：①、②を提出して下さい。
 - ①「追試験受験申請書」（印刷の上、必要事項を記入）
※電話照会等をさせていただく場合があります。連絡先は平日日中に確実に連絡がつく電話番号を記載してください。
※追試験の試験会場は、本試験で受験予定であった受験地もしくは、追試験での試験場設定がない場合、希望する受験地を選択できます。ただし、薬学部一般選抜（後期）の追試験場は本学のみです。
 - ②証明書類（写し可）
 - 【1】対象者①、②に該当する場合】…医師による診断書、検査結果が分かる文書等
 - 【1】対象者③に該当する場合】…申請書中に保健所の連絡内容を明記してください。
 - 【1】対象者④に該当する場合】…入国日が確認できるもの
 - 【1】対象者⑤に該当する場合】…個別に指示いたします。
- ・ 提出期限：本試験日を含め5日以内（必着）
- ・ 提出先：
〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1
東北医科薬科大学 学務部入試課
※封筒に「追試験申請書在中」と朱書きし、「簡易書留・速達」郵便にてお送りください。
※提出期限までに自宅等での療養や待機が必要な場合、別途提出方法を指示します。

3) 追試験の受験可否について

- ・ 追試験の受験可否については、後日大学から本人に通知します。追試験受験を許可する方には、「追試験受験許可通知」を郵送します。
- ・ 追試験当日は本試験の受験票と「追試験受験許可通知」を持参し、指定時間・指定場所（通知に記載）に集合してください。

4) 追試験受験上の注意事項

- ・ 追試験日程、合格発表日、試験場等の詳細は学生募集要項で確認してください。
- ・ 出題科目、範囲、配点、合格判定基準等については本試験に準じます。
- ・ 追試験当日は「追試験受験許可通知」に記載の「健康チェック」欄にて健康状態を申告してください。

- ・ 追試験を欠席した場合の対応は行いません。その場合でも、検定料の返還を行いません。
- ・ 追試験の受験を許可された場合、本試験の受験はできません。また、本試験当日に受験済みの科目があった場合でも採点対象とはならず、本試験の欠席者として取り扱います。

3. 試験実施における本学の対応

- ・ 学力試験において、受験者同士の座席は1メートル程度の間隔を確保します。
- ・ 面接試験において、受験者および面接担当者の距離は2メートル程度の間隔を確保し、双方ともマスクを着用したままで面接を行います。ただし、面接担当者が必要と判断した場合は、受験者にマスクを外すよう指示し面接を行う場合があります。
- ・ 試験場および試験室内の換気のため、必要に応じて開窓等を行います（建物設備により高機能換気を行える場合は、換気の効果が低下するため開窓等は行わないこともあります）。
- ・ 試験業務に携わる試験監督者等については、毎朝体温測定を行い体調管理に努めています。
- ・ 試験業務に携わる試験監督者等は、昼食時を除き不織布マスクを着用し、手指消毒等の感染対策に努めます。また、必要に応じて手袋を着用します。
- ・ 試験場および試験室入口等に消毒液を設置します。
- ・ 試験室の机、椅子の消毒を行い、試験を実施します。

【連絡先】

東北医科薬科大学 学務部入試課
TEL : 022-234-4181 (代)